

タイトル： 在宅高齢者・障害者の口腔健康管理をはじめましょう！

—口腔ケアの基礎から実践まで—

氏名： 松山 美和

所属： 徳島大学大学院医歯薬学研究部 口腔科学部門口腔保健学系 口腔機能管理学分野
教授

概要：

平成 28 年高齢社会白書によれば、平成 27 年 10 月 1 日現在、高齢者人口は 3,392 万人、高齢化率は 26.7%、とくに 75 歳以上の人口は 1,641 万人 (12.9%) であり、いずれも過去最高値となりました。また、要介護高齢者は約 570 万人、とくに 75 歳以上の割合は 23.3% と高く (平成 25 年度)、今後益々の増加が予測されます。そして、地域包括ケアシステムの推進と定着が図られている今、歯科衛生士や歯科医師には在宅高齢者や障害者の口腔健康管理が期待されています。

そこで、この研修会では在宅高齢者や障害者の口腔健康管理に必要な口腔衛生管理と口腔機能管理の知識と技術を講義と実習で学習し、口腔健康管理による在宅高齢者や障害者の食べる機能の支援や管理をはじめましょう。

第 1 回 講義：口腔ケアの基礎

高齢者や障害者の健康管理には低栄養改善などの栄養管理が重要であり、そのために食べる機能の維持・向上が必要です。この講義では、多職種連携・協働の中で歯科衛生士・歯科医師が提供できる食べる機能の支援や管理を再認識し、そのために必要な口腔機能、とくに咀嚼機能と摂食嚥下機能の基礎知識、そして口腔衛生管理の必要性を学習します。

第 2 回 実習：在宅高齢者・障害者の口腔衛生管理

高齢者や障害者のように口腔機能が低下した状態を模倣して、口腔衛生管理の具体的技術である口腔清掃の相互実習を行います。新たに開発された水を使わない口腔ケア専用ジェルを使用して、吸引ができる環境とできない環境を想定して、実技を行います。

さらに、対応の困難な認知症高齢者に対するケア法である「ユマニチュード」も学習します。

第 3 回 講義：在宅高齢者・障害者の口腔機能管理

第 1 回の講義で学習した摂食嚥下機能の基礎を復習し、摂食機能療法の具体的方法について学習します。摂食嚥下リハビリテーションの間接訓練法や直接訓練法、機能に適した食形態とその選択、さらに多職種連携・協働について学習します。



略 歴：

平成元年（1989年）	九州大学歯学部卒業
同 年	九州大学大学院歯学研究科入学，及び九州大学歯学部第二補綴学講座入局
平成 5年（1993年）	九州大学大学院修了，博士（歯学）号取得
同 年	九州大学歯学部第二補綴学講座 助手
平成 21年（2009年）	九州大学病院口腔機能修復科（義歯補綴科） 講師
平成 23年（2011年）	徳島大学大学院 教授，現在に至る

専門医・指導医：

- 社団法人日本補綴歯科学会 専門医（第 1789 号），指導医（第 957 号）
- 有限責任中間法人日本老年歯科医学会 専門医（第 144 号），指導医（第 144 号）
- 日本顎顔面補綴学会 認定医（第 37 号）
- 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会 認定士（第 110197 号）

著書：

- 公益社団法人日本歯科衛生士会監修，歯科衛生士のための口腔機能管理マニュアル 高齢者編，医歯薬出版，2016 年